

日 本 宗 教 学 会  
第 59 回 学 術 大 会

期 日 2000年9月13日(水)～15日(金)  
会 場 駒 澤 大 学  
東京都世田谷区駒沢1-23-1

## お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。お帰りの際は受付に名札をご返却下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会の会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いします（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）。
5. 研究発表のレジュメ（表紙・本文）は、部会責任者にお渡し下さい。

締切 大会最終日（9月15日）16時50分

以後の提出、訂正は一切受け付けません。

表紙 同封のレジュメ表紙をご利用下さい。

枚数 題目・氏名を除いて、400字詰縦書き原稿用紙4枚以内厳守。

ワープロ原稿を1行40字で作成の場合は40行以内厳守。

枚数を超過した場合は掲載できないこととなります。

本文 縦書き（ワープロ・パソコンでの印字も縦書き）。

なるべくワープロ・パソコンでプリントアウトした原稿をご提出下さい。

図表等の掲載はできませんので添付しないで下さい。

校正は事務局で行います。読みやすいレジュメをご提出下さい。

6. 研究発表の会場は禁煙です。
7. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

TEL（9月13日まで） 03-3418-9319

TEL（9月14日・15日）090-1666-3956

FAX 03-3418-9319

受	付	1号館 2階ロビー
会	員	休憩室
日	本	宗
本	部	本部
学	術	大会本部
大	会	本部
本	部	本部

## 日 程

### 9月13日（水）

学会賞選考委員会	（ 大学会館 ）	12：00～14：00
各種委員会	（ 大学会館 ）	12：00～14：00
開会式	（ 記念講堂 ）	14：00～14：20
公開講演会	（ 記念講堂 ）	14：20～16：30

「じゆんじゆく 功德の宅配便（回施）と醇熟（回向）  
 - 仏教の二つの宗教レベルをめぐって -」  
 駒澤大学名誉教授

奈良 康明

「プラクティカル・ブッディズム 生活仏教の諸相 - 宗教人類学的視点から -」  
 駒澤大学教授

佐々木宏幹

理事会	（ 深沢校舎 大ホール ）	17：30～19：30
-----	---------------	-------------

### 9月14日（木）

研究発表	（ 1号館 2階・3階・4階 ）	9：00～12：00
特別部会	（ 1号館 301教室 ）	9：00～12：00
評議員会	（ 1号館 401教室 ）	12：00～13：30
研究発表	（ 1号館 2階・3階・4階 ）	13：30～16：30
特別部会	（ 1号館 301教室 ）	13：30～16：30
会員総会	（ 記念講堂 ）	16：40～17：40
懇親会	（ 学生食堂 ）	18：00～20：00

### 9月15日（金）

研究発表	（ 1号館 2階・3階・4階 ）	9：00～12：00
『宗教研究』編集委員会	（ 大学会館 ）	12：00～13：30
研究発表	（ 1号館 2階・3階・4階 ）	13：30～16：50
閉会式	（ 1号館 ）	各部会終了後部会ごとに

## 第1部会 (1-202)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |  |                   |
|--|-------------------|
| 1. ヴァン・デル・レーウにおける「ホモ・レリギオスス」について         | 岡 宏 志 (東 北 大)     |
| 2. ミルチャ・エリアーデと聖の解釈学                      | 國 松 萌 美 (京 大)     |
| 3. 「ポスト・エリアーデ」時代の宗教研究—神話理論を事例に—          | 東馬場 郁 生 (天 理 大)   |
| 4. エリアーデと大江健三郎—エピファニーをめぐる—               | 奥 山 倫 明 (南 山 大)   |
| 5. 「宗教」概念と「聖」概念—系譜学的比較—                  | 藤 原 聖 子 (シ カ ゴ 大) |
| 6. デュルケーム宗教論再考—R. スミスによる「啓示」をめぐる—        | 山 崎 亮 (島 根 大)     |
| 7. 比較宗教史の方法をめぐる—W. C. Smithのpersonalism— | 土 田 友 章 (南 山 大)   |
| 8. ワッハのオット—理解                            | 澤 井 義 次 (天 理 大)   |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 宗教社会学研究の対象について—1900~1940—     | 寺 田 喜 朗 (東 洋 大)       |
| 2. フランス第三共和制期における道徳と宗教—宗教社会学的研究— | 手 戸 聖 伸 (東 大)         |
| 3. 世俗化の解釈学とケネス・パーク               | 堀 雅 彦 (北 大)           |
| 4. 社会分化の下位概念としての世俗化の位置付けについて     | 住 家 正 芳 (東 大)         |
| 5. 宗教経済学の展開—世俗化理論から市場理論へ—        | 岩 井 洋 (関 西 国 際 大)     |
| 6. 「ポスト近代的宗教性」の条件—ジンメルとキューピット—   | 深 澤 英 隆 (一 橋 大)       |
| 7. 世俗化の思想史の再検討—伝統的規範の弛緩過程—       | 宇 都 宮 輝 夫 (北 大)       |
| 8. 聖と俗の境界消滅—NPOとしての宗教集団—         | 井 門 富 二 夫 (桜 美 林 学 園) |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 日常生活のなかの邪視                    | 内 藤 順 子 (九 大)       |
| 2. 何が宗教研究の対象になりうるのか—疑似宗教、疑似科学—   | 小 池 靖 (東 大)         |
| 3. 「宗教」と「理性なき人々」                 | 谷 口 智 子 (筑 波 大)     |
| 4. 高山樗牛と宗教的回心                    | 徳 田 幸 雄 (東 北 大)     |
| 5. 近代的世界記述と「仏教」—創られた伝統としての「須弥界」— | 岡 田 正 彦 (天 理 大)     |
| 6. 聖伝の歴史的制約性と聖伝における〈歴史〉の創造       | 宮 本 要 太 郎 (筑 波 大)   |
| 7. 神話／神話学／神話学説史／メタ神話             | 松 村 一 男 (和 光 大)     |
| 8. 多神教と一神教                       | 関 一 敏 (九 大)         |
| 9. 信仰の種々相                        | 加 藤 智 見 (東 京 工 芸 大) |

9月15日(金) 午後(13:30~16:30)

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 「宗教対話経験の諸相」研究の射程            | 濱 田 陽 (京 大)               |
| 2. 宗教多元主義をめぐる論争状況について          | 山 梨 有 希 子 (大 正 大)         |
| 3. 「衝突から共存へ」—キリスト教と諸宗教の対話を求めて— | 野 村 誠 (共 愛 学 園 前 橋 国 際 大) |
| 4. 「ジェンダー・センシティブ」な宗教学へ         | 薄 井 篤 子 (神 田 外 語 大)       |
| 5. ヨーロッパ連合とセクト／カルト問題           | 中 野 毅 (創 価 大)             |
| 6. 日本的習合宗教と単一神論                | 西 谷 幸 介 (東 北 学 院 大)       |
| 7. 生き神信仰と宗教学                   | 植 島 啓 司 (関 西 大)           |
| 8. 人類技術と伝統的宗教の構造転換への提唱         | 平 野 孝 國 (皇 學 館 大)         |
| 9. 都市空間の宗教的意味について              | 荒 木 美 智 雄 (筑 波 大)         |

## 第2部会 (1-302)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                                  |                  |
|----------------------------------|------------------|
| 1. プラトンにおける「目的論」と「技術観」との関係       | 和田 義浩 (東京医科大)    |
| 2. ヌメニオスのプラトン観                   | 土屋 睦廣 (早大)       |
| 3. グノーシス主義と模倣の神話論理               | 大田 俊寛 (東大)       |
| 4. ニーチェ『様々な意見と箴言』222節における「神像」の問題 | 千葉 一弥 (早大)       |
| 5. クラフト(力)とマハト(権力)をめぐる—ニーチェ論—    | 環 栄賢             |
| 6. 新しさの形而上学—プラグマティズム的实在認識の視点から—  | 冲永 宜司 (帝京大)      |
| 7. J. デューイにおける知性と自由の問題           | 宮野 升宏 (大正大)      |
| 8. いわゆる〈折衷主義〉の哲学・思想史的位置づけについて    | 掛川 富康 (茨城キリスト教大) |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                                  |                  |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 魂の不死性をめぐって—カントとメンデルスゾーン—      | 後藤 正英 (京大)       |
| 2. 前期シェリングにおける「絶対者」についての一考察      | 星川 隆吉 (龍大)       |
| 3. ヘーゲルの聖餐論—啓蒙主義と神秘主義の間—         | 小林 亜津子 (日本学術振興会) |
| 4. ハイデッガーとローゼンツヴァイク—事実性と歴史性への問い— | 田中 敏明 (龍大)       |
| 5. われわれとは誰であるか—ハイデッガーの一つの問い—     | 秋富 克哉 (京都工芸繊維大)  |
| 6. ヤスパースと世界史の軸                   | 土佐 明 (京大)        |
| 7. ヤスパースにおける信仰と包越者               | 布施 圭司 (米子工業高専)   |
| 8. E. M. シオランの懐疑と神秘主義            | 安井 猛 (尚絅女学院短大)   |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| 1. ショーペンハウアー哲学における「信」の地平      | 伊藤 貴雄 (創価大)    |
| 2. テイリッヒの「新しい存在」              | 高橋 良一 (京大)     |
| 3. P. テイリッヒと表現主義              | 石川 明人 (北大)     |
| 4. テイリッヒにおける運命概念の射程と問題        | 今井 尚生 (西南学院大)  |
| 5. 象徴の理論—テイリッヒとリクール—          | 岩田 成就 (立大)     |
| 6. テイリッヒとシュライエルマッハー—信仰概念をめぐる— | 芦名 定道 (京大)     |
| 7. シュライアーマッハーの倫理学について         | 川島 堅二 (恵泉女学園大) |
| 8. V. ソロヴィヨフの全一的共同体の理念をめぐる    | 谷 寿美 (慶大)      |

9月15日(金) 午後(13:30~16:50)

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. R. W. エマソンにおける「道徳」と「宗教」      | 庄司 一平 (東北大)       |
| 2. W. v. フンボルトにおける人間研究と言語研究について | 谷口 静浩 (関西学院大)     |
| 3. 西洋における「涅槃」理解                 | 白木 悦生 (大正大)       |
| 4. S. ヴェイユ「自由論」における「愛」の積極性      | 今村 純子 (京大)        |
| 5. レヴィナスにおける「道徳」                | 重松 健人 (関西学院大)     |
| 6. 「聖徒の交わり」の霊性倫理                | 寺尾 寿芳 (和歌山信愛女子短大) |
| 7. 宮沢賢治にみる福祉の精神—修羅から菩薩・仏へ—      | 新保 哲 (姫路獨協大)      |
| 8. 21世紀の宗教哲学—西田と田辺の哲学を介して—      | 花岡 永子 (大阪府立大)     |
| 9. 「終末論的なる所、即ち平常底」とはどういうことなのか   | 津田 真一 (国際仏教学大学院大) |
| 10. スウェーデン・価値ニヒリスムの宗教哲学         | 尾崎 和彦 (明大)        |

## 第3部会 (1-303)

### 9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                                |                     |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. ユリアヌスの宗教復興とアンティオキア          | 中 西 恭 子 (東 大)       |
| 2. 分散と破片—アウグスティヌスとベンヤミンの場合—    | 松 田 健三郎 (天 理 大)     |
| 3. アンセルムスとグアルベルトゥス             | 山 崎 裕 子 (文 教 大)     |
| 4. 聖ベネディクト修道会と現代社会             | 坂 本 進 (アサンブション大)    |
| 5. ルターにおける死の意味                 | 早乙女 禮 子 (大 阪 体 育 大) |
| 6. 自由宗教者運動—ドイツブルジョワ自由主義革命の宗教性— | 久保田 浩 (チュービンゲン大)    |
| 7. キリスト信仰と無                    | 名木田 薫 (倉敷芸術科学大)     |
| 8. キリスト教における「神化(テオーシス)思想」について  | 田 島 照 久 (早 大)       |

### 9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 明治女子留学生の入信に関する一考察—津田梅子の場合— | 寺 坂 有 美 (大 正 大)     |
| 2. 植村正久の「宗教」・キリスト教理解についての一考察  | 星 野 靖 二 (東 大)       |
| 3. 福沢諭吉とユニテリアニズム              | 山 口 亜 紀 (名 大)       |
| 4. 新渡戸稲造と内村鑑三の信仰の源流に関する一考察    | 加 藤 隆 (光塩学園女子短大)    |
| 5. 安井てつの女性論                   | 森 上 優 子 (南 山 大)     |
| 6. 滝沢インマヌエル神学と八木神学—不可逆をめぐって—  | 柴 田 秀 (千 葉 商 科 大)   |
| 7. プーバーにおけるvertrauenの意義       | 福 井 雅 彦 (愛 知 医 科 大) |
| 8. ル・フォールにおける「苦しみ」            | 八 木 博 (山 梨 大)       |

### 9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. キルケゴールによる投影論理解                  | 須 藤 孝 也 (一 橋 大)      |
| 2. ケルケゴールとイロニー                     | 大 利 裕 子 (同 志 社 大)    |
| 3. S.ケルケゴール「二つの講話」(1843)における信仰について | 平 林 孝 裕 (関 西 学 院 大)  |
| 4. プルトマンにおける非神話化論の検討               | 土 井 洋 (JELCビジョンセンター) |
| 5. 『イエス伝』の作者シュトラウスの思想的視座           | 千 葉 智 子 (北 大)        |
| 6. 旧約における「正義」および「知恵」とマアトとの関係について   | 加 藤 久美子 (聖 心 女 子 大)  |
| 7. ローマ書8章29節における栄化の意味              | 野 口 誠 (茨城キリスト教大)     |
| 8. レビ記における聖・俗・穢れ                   | 山 我 哲 雄 (北 星 学 園 大)  |
| 9. 聖書の右手と左手の意味するもの                 | 木 原 範 恭 (近 大)        |

### 9月15日(金) 午後(13:30~16:50)

- |                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. シモーヌ・ヴェイユにおけるキリストの十字架と真空を抱えた待望 | 松 原 詩 乃 (京 大)        |
| 2. ロシア正教における共同性                   | 大 高 まどか (東 大)        |
| 3. ブレイクとランターズ—その宗教思想に見られる原風景と原人物— | 木 田 理 文 (文化伝承研究センター) |
| 4. ゴロアスター教徒パーシーの祭司集団の歴史的展開について    | 中別府 温 和 (宮 崎 公 立 大)  |
| 5. ハシディズム理解を巡って—ショーレム対プーバー—       | 手 島 勲 矢 (大 阪 産 業 大)  |
| 6. ユダヤ教における説得の論理—知識の階梯と境界—        | 市 川 裕 (東 大)          |
| 7. 初期シーア派イスラームにおける伝承主義と合理主義の相剋    | 吉 田 京 子 (日本学術振興会)    |
| 8. イスラームと非イスラームの境界研究—アメリカの事例研究—   | 保 坂 俊 司 (麗 澤 大)      |
| 9. 宗教多元主義とイスラーム                   | 塩 尻 和 子 (筑 波 大)      |
| 10. マウドゥーディーのイスラーム解釈              | 中 村 廣治郎 (桜 美 林 大)    |

## 第4部会 (1-304)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 禅定論の研究—特に安那般那 (ānāpāna) を中心として— | 洪 鴻 榮 (立 正 大)       |
| 2. プラフマンと絶対無                       | 甲 田 烈 (東 洋 大)       |
| 3. 隋・唐初期における浄土院について                | 柴 田 泰 山 (大 正 大)     |
| 4. 道安の『浄土論』について                    | 金 子 寛 哉 (大 正 大)     |
| 5. 敦煌チベット語文献『靈神祭儀物語』の紹介            | 石 川 巖 (東 方 研 究 会)   |
| 6. 初期中国仏教における鳩摩羅什—「大乘」の概念を中心に—     | 采 翠 晃 (大 谷 大)       |
| 7. 大乘仏教の正統性                        | 藤 近 恵 市 (大 正 大)     |
| 8. 和辻哲郎の十二縁起解釈について                 | 今 西 順 吉 (国際仏教学大学院大) |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1. ムスリムからの質問を契機とする“仏像”解釈の展開例              | 田 中 かの子 (駒 大)       |
| 2. 天台の実相論について                             | 鄭 世 成 (立 正 大)       |
| 3. 東アジアにおける同別二教的仏教思想史の構想                  | 早 川 道 雄 (国際仏教学大学院大) |
| 4. 有為と無為 (真如無為) との関わり合いについて               | 那 須 円 照 (龍 大)       |
| 5. シュリ・オーロビンドの論理について                      | 北 川 清 仁 (東 方 学 院)   |
| 6. 最古のジャイナ教聖典とされる Āyāraṅga-sutta のすがたについて | 渡 辺 研 二 (淑 徳 短 大)   |
| 7. 大阿弥陀経における五悪段の意義                        | 龍 口 明 生 (龍 大)       |
| 8. 弥勒のふるさとと住处について                         | 小 林 圓 照 (花 園 大)     |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 『四明尊者教行録』における知礼門下の動向         | 林 鳴 宇 (駒 大)         |
| 2. 阿弥陀仏の表現形態としての名号の役割           | 木 村 世 雄 (龍 大)       |
| 3. 扶餘陵山里廃寺址から出土した石造舍利龕銘文の諸考     | 李 興 範 (立 正 大)       |
| 4. 曇鸞の『論註』における行の研究              | 中 村 英 俊 (龍 大)       |
| 5. 禅宗内成立偽経の思想的特質について            | 猪 崎 直 道 (駒 大)       |
| 6. 北魏時代の仏塔について                  | 堀 江 宏 文 (立 正 大)     |
| 7. 大乘涅槃経の「如来常住・仏性」説は大智度論の思想の改変か | 武 田 浩 学 (国際仏教学大学院大) |
| 8. 『成唯識論別抄』の作者問題について            | 橘 川 智 昭             |
| 9. 『開元釈教広品歴章』について               | 手 島 一 真 (立 正 大)     |

9月15日(金) 午後(13:30~16:50)

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 発心の諸相について                  | 深 瀬 俊 路 (曹洞宗総合研究センター) |
| 2. 道元の業観—「三時業」に関して—           | 半 田 栄 一 (中央 商 科 短 大)  |
| 3. 『摧邪論』と『守護国家論』              | 岩 田 親 静 (立 正 大)       |
| 4. 空海の空間的想像力                  | 日 平 勝 也 (東 大)         |
| 5. 近世後期の護法論—徳門普寂『天文辨惑』を中心に—   | 西 村 玲 (東 北 大)         |
| 6. 中世日本の真言教学と明恵               | 前 川 健 一 (日本学術振興会)     |
| 7. 金襴袈裟の展開                    | 松 村 薫 子 (総合研究大学院大)    |
| 8. R. オットーの禅理解に於ける十牛図・入廬垂手の問題 | 木 村 俊 彦 (四天王寺国際仏教大)   |
| 9. 空海における四種法身と四種曼荼羅身          | 福 田 亮 成 (大 正 大)       |
| 10. 仏教は西洋思想に染むか—一念三千とモノドロジ—   | 河 村 孝 照 (日本伝統文化研究所)   |

## 第5部会 (1-402)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 「談義本」の一考察                      | 伊藤唯道(龍大)    |
| 2. 親鸞における聖道仏教観                    | 前田壽雄(龍大)    |
| 3. 「証巻」における正定聚と滅度                 | 高志教生(龍大)    |
| 4. 『愚禿鈔』と『西方指南抄』                  | 中臣至(龍大)     |
| 5. 妙好人・浅原才市の弥陀浄土観—現代真宗伝道論構築への一指標— | 渡邊了生(龍大)    |
| 6. 『教行証文類』所引の用欽遺文について             | 原田宗司(龍大)    |
| 7. 親鸞における家族の問題                    | 安藤章仁(龍大)    |
| 8. 親鸞と阿闍世—「信巻」逆謗撰取釈を中心に—          | 貫名讓(大谷女子短大) |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 真実のコトダマ“南無阿弥陀仏”              | 輅津照信             |
| 2. 善鸞事件の一考察                     | 御手洗隆明(大谷大)       |
| 3. 歎異抄におけるハカラヒの概念               | 西田真因(真宗大谷派教学研究所) |
| 4. 大正・昭和初期に於ける真宗学の動向—浄土教批判を中心に— | 寺本知正(NCC宗教研究所)   |
| 5. 覚如教学の研究                      | 林智康(龍大)          |
| 6. 道元の課題                        | 何燕生(郡山女子大)       |
| 7. 道元禅師のみた浄土教—宋代浄土教と法然浄土教の狭間で—  | 林田康順(大正大)        |
| 8. 十二巻本『正法眼蔵』における「四馬」の位置づけをめぐる  | 石井修道(駒大)         |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 法然と親鸞の伝道についての一考察           | 高山秀嗣(龍大)        |
| 2. 法然における菩提心について              | 常光香誓(龍大)        |
| 3. 法然門下と師の概念                  | 龍口恭子(龍大)        |
| 4. 親鸞における「仮令の誓願」              | 平原晃宗(大谷大)       |
| 5. 親鸞における聖教写与の一考察             | 山本浩信(浄土真宗教学研究所) |
| 6. 浄土真宗の伝道論—世紀を越えたアメリカ開教を通して— | 葛野洋明(龍大)        |
| 7. 近世小田原藩における日蓮宗寺院の動向         | 池谷真敬(立正大)       |
| 8. 身延山信仰の諸相                   | 望月真澄(身延山大)      |
| 9. 日蓮教学における〈信〉と〈観心〉           | 渡邊寶陽(立正大)       |

9月15日(金) 午後(13:30~16:30)

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 日蓮の情報網と連絡網—日蓮の手紙、日蓮への手紙—    | 高森大乘(立正大)     |
| 2. 日蓮遺文の物語性                    | 三輪是法(身延山大)    |
| 3. 浄土教福祉論の思想的課題                | 鈴木善鳳(武蔵野女子大)  |
| 4. 時宗における天皇観—主として近世から廃仏毀釈にかけて— | 小野澤眞(時宗教学研究所) |
| 5. 心地房無本覚心と時衆                  | 古賀克彦(国府台女子学院) |
| 6. 鎌倉仏教における宗祖の飲食観(一遍上人)        | 目黒きよ(立正大)     |
| 7. 身延における日蓮と『注法華経』             | 関戸堯海(身延山大)    |
| 8. 日蓮の立正安国論と三教指帰               | 北川前肇(立正大)     |
| 9. 日蓮研究の二つの視点—『日蓮とその時代』を中心として— | 笠井正弘(西日本短大)   |



## 第6部会 (1-403)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 中江藤樹晩年の信仰について            | 鈴木保實(愛知県立明和高) |
| 2. 記紀解釈の統合と変容—国学者栗田土満を例として— | 松本久史(國學院大)    |
| 3. 『神秘主義と禪』に見られる鈴木大拙博士の禪思想  | 和田真二          |
| 4. 三木清における親鸞像               | 山田衛(興國高)      |
| 5. 和辻における宗教性と倫理—「信頼」を中心に—   | 宮野美子(京大)      |
| 6. 西谷宗教哲学における業の問題           | 西元和夫(龍大)      |
| 7. 日本哲学開始期におけるカント受容について     | 水野友晴(京大)      |
| 8. 『善の研究』の原題について            | 浅見洋(石川県立看護大)  |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 神事芸能と地域福祉—石見神楽の事例—   | 板井正斉(皇學館大)        |
| 2. 注釈神話としての神社縁起         | 石倉孝祐(飛鳥山博物館)      |
| 3. 武威と鳴弦—伊勢貞丈における武士の職分— | 森和也(東方研究会)        |
| 4. 院内山伏の自葬祭             | 山本義孝(静岡県浅羽町教育委員会) |
| 5. 陰陽師の代理参仕について         | 米井輝圭(文化庁)         |
| 6. 陰陽道と大雑書              | 小池淳一(弘前大)         |
| 7. 江戸期・雲仙岳の噴火と仏僧の活動     | 根井浄(神戸常盤短大)       |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                                   |               |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. キリスト教土着の構造—ロシアと日本の比較—          | 黒川知文(愛知教育大)   |
| 2. 流行する風水とそのイメージ                  | 鈴木一馨(東方研究会)   |
| 3. 電子ネットワーキングと宗教—参加をめぐって—         | 黒崎浩行(國學院大)    |
| 4. 「宗教とジェンダー」研究の成果と展望—日米、新旧の二軸から— | 猪瀬優理(北大)      |
| 5. 白光真宏会とジェンダー—規範からの自由について—       | 熊田一雄(愛知学院大)   |
| 6. 日本近代化と金光教祖の生神思想                | 渡辺順一(金光教教学研究) |
| 7. 「感情教育」としての宗教性—その「交渉=専用」の感情的側面— | 檜尾直樹(慶大)      |
| 8. ブラジルにおける日系新宗教の展開               | 渡辺雅子(明治学院大)   |
| 9. 中山みきとその家族—長男秀司の障害の視点から—        | 池田士郎(天理大)     |

9月15日(金) 午後(13:30~16:10)

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 古代日本の神(ナル-カミ)について              | 大西昇(東京工芸大)  |
| 2. 神と神ノマヘ(前)—古事記と延喜式祝詞の場合—        | 白江恒夫(芦屋大)   |
| 3. 明治期日本の科学と宗教                    | 前川理子(東大)    |
| 4. 神なき時代の黙示録—劇画『ナウシカ』の終末論—        | 十津守宏(鈴鹿国際大) |
| 5. 終末予言の無意味化—オウム真理教の場合—           | 尾堂修司        |
| 6. ロシヤのオウムとその原典                   | 椿實          |
| 7. 1990年代日本におけるカルト、マインドコントロール論の問題 | 櫻井義秀(北大)    |
| 8. オウム真理教問題と科学としての宗教研究            | 池田昭         |

## 第7部会 (1-404)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| 1. スピリチュアルケアの現状と問題—終末期医療を中心に— | 中村隆子(京大)       |
| 2. スピリチュアルペイン—その宗教的課題—        | 林弘幹(真宗大谷派教学研究) |
| 3. 真宗とカウンセリングの統合について          | 吾勝常行(龍大)       |
| 4. 日本におけるターミナル・ケアと宗教          | 石川都(茨城キリスト教大)  |
| 5. 「脳死」臓器移植と真宗                | 石田智秀(龍大)       |
| 6. 安楽死問題とその今日的展開              | 金永晃(大正大)       |
| 7. 社会学における伝統概念について            | 中筋由紀子(愛知教育大)   |
| 8. 世論調査から見た日本人の宗教団体への関与・認知・評価 | 石井研士(國學院大)     |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 1. 宗教的回心の考察                  | 中山彰信(九州情報大) |
| 2. 『ヨブへの答え』におけるユングの神解釈解明の試み  | 宮下聡子(東大)    |
| 3. ユングにおける信仰と創造性の関係          | 杉岡正敏(京大)    |
| 4. グノーシス主義とユング心理学            | 高橋原(東大)     |
| 5. 阿闍世コンプレックス論生成の謎とその意義      | 岩田文昭(大阪教育大) |
| 6. ミンデルのドリームボディ説             | 津城寛文(静岡県立大) |
| 7. ロバート・J・リフトンのオウム真理教研究をめぐって | 渡辺学(南山大)    |
| 8. 行と学—橋田邦彦の場合—              | 松本皓一(駒大)    |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 仏教音楽に対する人びとの意識              | 三村成子(曹洞宗総合研究センター) |
| 2. 近代における宗教音楽の変容についての一考察       | 三村利恵(大阪音楽大)       |
| 3. 慰霊をとりまく状況—長崎の原爆慰霊について—      | 西村明(東大)           |
| 4. 戦時期日本神出征考—霊夢から儀礼まで—         | 丸山泰明(阪大)          |
| 5. 日本国憲法下での政教分離訴訟              | 菱木政晴(西山短大)        |
| 6. ハイブリッドとしての国民文化—英国における戦没記念碑— | 粟津賢太(国立歴史民俗博物館)   |
| 7. “戦死者”の表象をめぐって               | 川村邦光(阪大)          |
| 8. 国家神道概念の再構築                  | 島蘭進(東大)           |

9月15日(金) 午後(13:30~16:50)

- |                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 東アジアの宗教的特質                | 芦名裕子(亜細亜大)        |
| 2. ハンと韓国の宗教史                 | 申昌浩(国際日本文化研究センター) |
| 3. 植民地期朝鮮における「心田開発」について      | 川瀬貴也(東大)          |
| 4. 人工生殖時代の朝鮮儒教—祖先崇拜としての人間複製— | 渕上恭子(東京外国語大)      |
| 5. 水子地蔵の起源を求めて               | 清水邦彦(金沢大)         |
| 6. 〈道〉の神話—『莊子』における神話的表象について— | 館野正美(日大)          |
| 7. 梁朝初期の天師道における受法のカリキュラムについて | 小林正美(早大)          |
| 8. キリシタン改宗の動機をめぐって           | 狭間芳樹(大谷大)         |
| 9. キリシタンと仏教                  | 宮崎賢太郎(長崎純心大)      |
| 10. キリシタン大名高山右近の目ざした日本社会     | 青山玄(南山大)          |

## 第8部会 (1-201)

9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

- |                                   |                     |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 現代における神社の「新嘗祭」                 | 海 上 直 士 (成 蹊 大)     |
| 2. 東北地方のキリスト教会にみる教派を超えた活動の展開      | 待 井 扶美子 (東 北 大)     |
| 3. 知的障害者巡礼の挑戦—ルルドにおける共同体イメージの多様性— | 寺 戸 淳 子             |
| 4. キルケゴール「単独者」概念と北欧の古法            | 中 里 巧 (東 洋 大)       |
| 5. 兵庫・一乗寺法道仙人像の研究                 | 田 中 夕 子 (佛 教 大)     |
| 6. 但馬国大屋郷の修験山伏と熊野信仰               | 菊 池 武 (砺波市立散村地域研究所) |
| 7. 食行身禄の著作にみる敬意                   | 大 谷 正 幸             |
| 8. 人間の生死に関わる石信仰について               | 植 田 重 雄 (早 大)       |

9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                                   |                     |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 近代における「日本寺院庭園」言説の国際比較と考察       | 片 平 幸 (総合研究大学院大)    |
| 2. 「人身御供」祭祀論—「人形」の神饌を供えるということ—    | 六 車 由 実 (日本学術振興会)   |
| 3. 柳田國男と『先祖の話』                    | 本 多 亮 (大 正 大)       |
| 4. 一遍の「踊屋」と茶堂習俗                   | 青 木 淳 (高知女子大)       |
| 5. 昭和初期の宗教結社—荒川区の教会講社資料にみる—       | 川 又 俊 則 (立教女学院短大)   |
| 6. 祭り分布の歴史的展開の類型化に関する事例報告—御柱祭の場合— | 島 田 潔 (國 學 院 大)     |
| 7. 宗廟祭祀者の理念形態                     | 栗 原 圭 介 (大 東 文 化 大) |
| 8. 宗教における空間構造と祭り                  | 野 村 暢 清 (久 留 米 大)   |

9月15日(金) 午前(9:00~12:00)

- |                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 狂女の諸相—クルヒを演じる—                 | 永 原 順 子 (京 大)        |
| 2. 民俗仏教としての秋葉信仰と禪宗寺院について          | 渡 部 正 英 (駒 大)        |
| 3. 墓と樹木—トムライアゲの民俗を例として—           | 本 林 靖 久 (大 谷 大)      |
| 4. 〈墓地の無縁化〉への対処—掃苔道・霊園行政・柳田民俗学—   | 土 居 浩 (国際日本文化研究センター) |
| 5. 仏壇の起源についての一考察—盆棚説と持仏堂説の比較を通して— | ヨルン・ボクホベン (阪 大)      |
| 6. 葬祭業の展開と利用者との関係                 | 山 田 慎 也 (国立歴史民俗博物館)  |
| 7. 村落社会にみる墓地空間の構成                 | 鈴 木 岩 弓 (東 北 大)      |
| 8. ケガレ (穢れ) の民俗宗教                 | 櫻 井 徳 太 郎 (駒 大)      |

9月15日(金) 午後(13:30~16:50)

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 日本仏教と湯の文化                     | 横 井 教 章 (駒 大)         |
| 2. 埼玉県一地区における伝統的行事(正月・盆)の変遷をめぐって | 名 和 清 隆 (大 正 大)       |
| 3. 現代沖縄のシャーマニズムについて              | 佐 藤 壮 広 (立 大)         |
| 4. 運定め(の)神の来訪をめぐる奄美・沖縄の靈魂観念      | 加 藤 正 春 (ノートルダム清心女子大) |
| 5. 託宣の記録と伝達—山形県庄内地方の事例を中心に—      | 平 山 真 (東 洋 大)         |
| 6. 精霊の語る日常                       | 川 田 牧 人 (中 京 大)       |
| 7. タイ都市新中間層における瞑想実践              | 矢 野 秀 武 (日本学術振興会)     |
| 8. 中国雲南における哈尼の宗教構造               | 菅 原 壽 清 (曹洞宗総合研究センター) |
| 9. 山岳信仰の視点から考察する日韓両国の山岳名称        | 長 野 覺 (跡見学園女子大)       |
| 10. 日本における鍾馗信仰                   | 窪 徳 忠 (大 正 大)         |

## 特別部会 (1-301)

テーマ：「生活の宗教」としての日本仏教の研究

### 〔特別部会の趣旨〕

従来の「日本仏教研究」では、宗祖に代表される達人的仏教者の思想や、そうした思想の典拠となった教義・經典の研究、さらには、制度化された宗派を中心とする仏教史、などが、中心を成すたい柱として、豊富な蓄積を築いてきた。一方では、こうした仏教思想や仏教教団が、それぞれの時代の政治的、経済的、社会的状況のなかで果たした役割を丹念に検証した研究も、主として歴史学を中心に、業績が積み上げられている。これに対して、現実の社会に暮らす一般生活者の宗教的信念や実践については、民俗学を中心にした研究が一定の成果をあげてきたが、そこでは、往々にして理念化された仏教が民衆の呪術的・現世利益的習俗の対極に位置づけられる傾向が強くと、一般庶民の日常生活に生きている仏教の現実を直視した研究は、未だ多いとはいえない。

宗教学の視点や方法については、今も多くの論争があり、ある種の混沌状況を呈しているが、すべての文化的事象を政治的・経済的・社会的文脈へと帰してしまうのではなく、広義の「宗教」を関心の中心におき、宗教に生きる人間に焦点を合わせ、そのあり方や意味を問い続けることの重要性は失われていない。また、その場合の人間が、単に宗教的達人のみならず、一般の庶民的生活者をも含むべきであることも、今日ではかなりの賛同が得られるのではないかと思う。

こうした視点に立つとき、今後の宗教研究において、従来の理念的な仏教研究と、歴史的・民俗学的実証研究とを、現実社会に生きる生活者の生のレベルで繋ぎ直す研究が、ひとつの重要な課題になると思われる。いわば「生活の宗教」としての仏教研究を模索する作業である。今回はとりあえず日本仏教を中心におくが、こうした問題を考えるうえで、近隣文化との比較の視点も必要になってくるであろうことは言うまでもない。もとより、これは「言うは易し」で、実際には、その突破口を見いだすことすら難しいだろう。今回の特別部会を通して、こうした方向の研究を進展させるような興味深い問題系や、新たな視点に関して、いくつかのヒントが提起されることを期待したい。

### 9月14日(木) 午前(9:00~12:00)

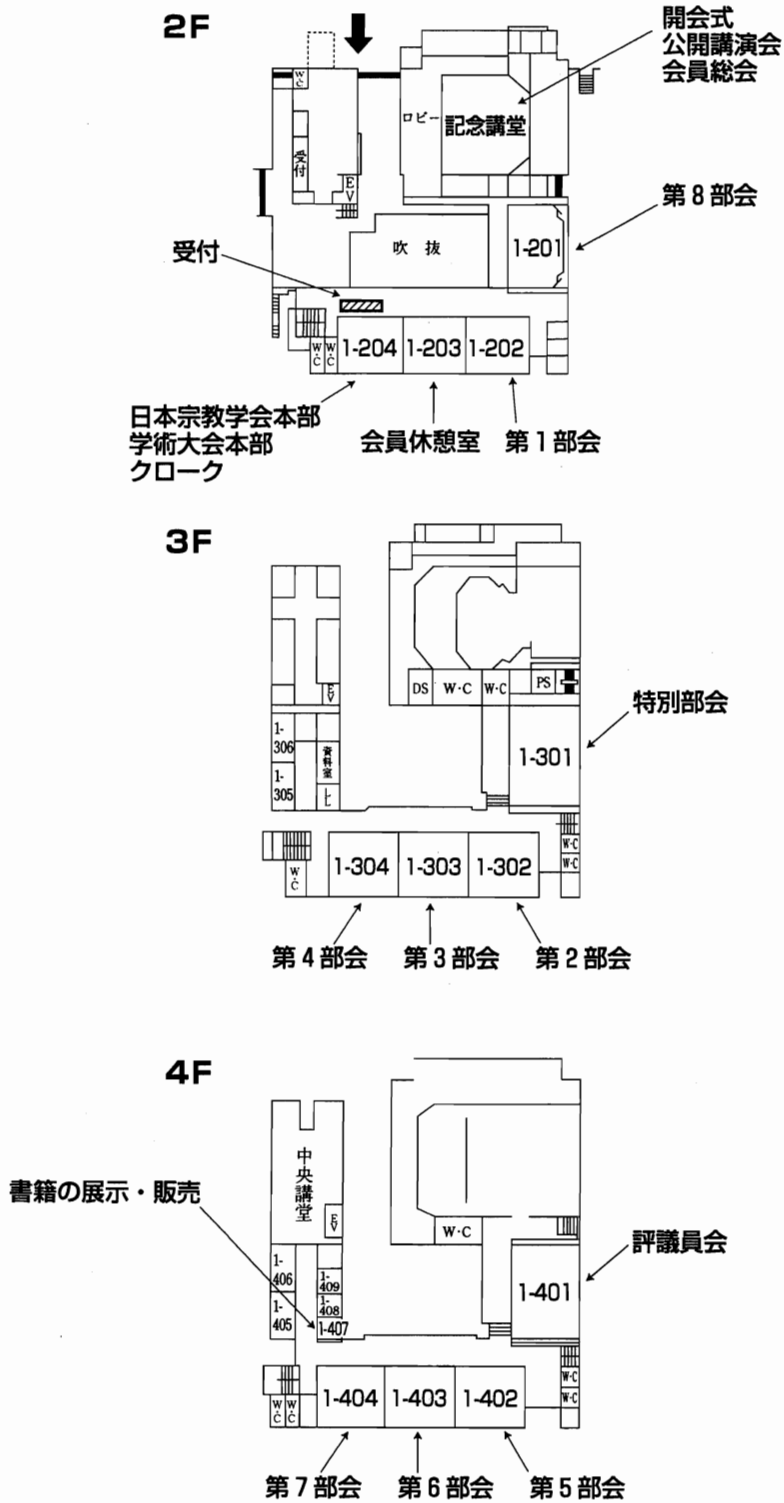
- |                           |          |               |
|---------------------------|----------|---------------|
| 1. 仏教学と宗教学—アカデミズムの知と制度—   | 林        | 淳 (愛知学院大)     |
| 2. 現場からの仏教再生運動            | 川        | 橋 範子 (名古屋工大)  |
| 3. 仏教における民衆救済の課題—医療の現場から— | 根        | 本 治子 (飯田女子短大) |
| 4. 教化と受容—仏教者の介在をめぐって—     | 木        | 場 明志 (大谷大)    |
|                           | ○コメンテーター | 田 丸 徳善 (大正大)  |
|                           | ○司 会     | 池 上 良正 (駒大)   |

### 9月14日(木) 午後(13:30~16:30)

- |                             |          |                  |
|-----------------------------|----------|------------------|
| 1. 神葬祭政策への対応にみる明治仏教の宗教観と儀礼観 | 村        | 上 興 匡 (東大)       |
| 2. 日本仏教と「行者」                | 長        | 谷部 八朗 (駒大)       |
| 3. 「死者・ホトケ」信仰の形成と意義         | 渡        | 辺 喜勝 (東北大医療短大)   |
| 4. 「死者供養」と「動物供養」            | 中        | 村 生雄 (阪大)        |
|                             | ○コメンテーター | 山 折 哲雄 (京都造形芸術大) |
|                             | ○司 会     | 永 井 政之 (駒大)      |

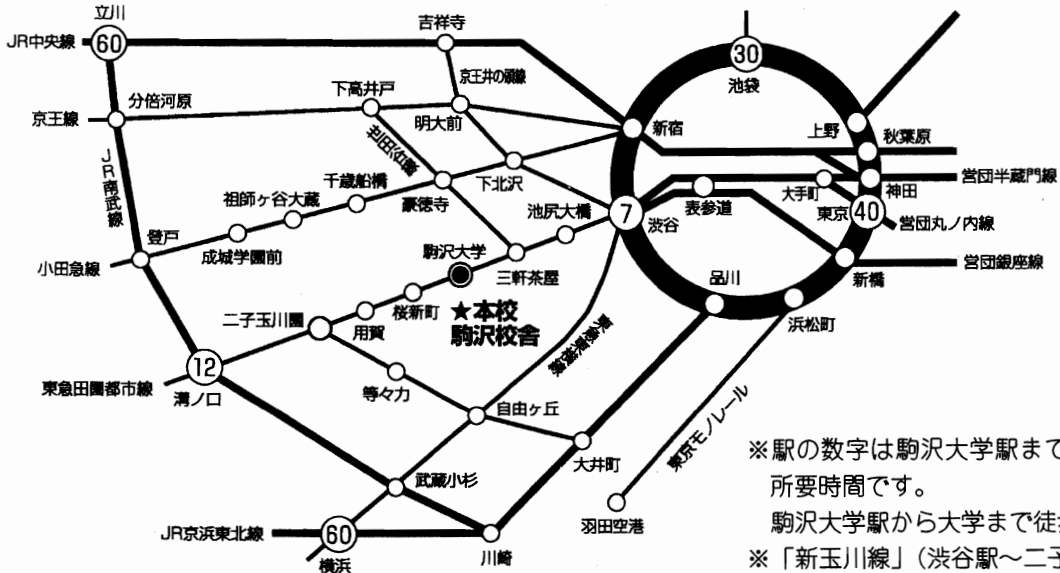
○特別部会のみ、発表時間は1人25分、質問時間は10分です。

# 1号館 教室配置図



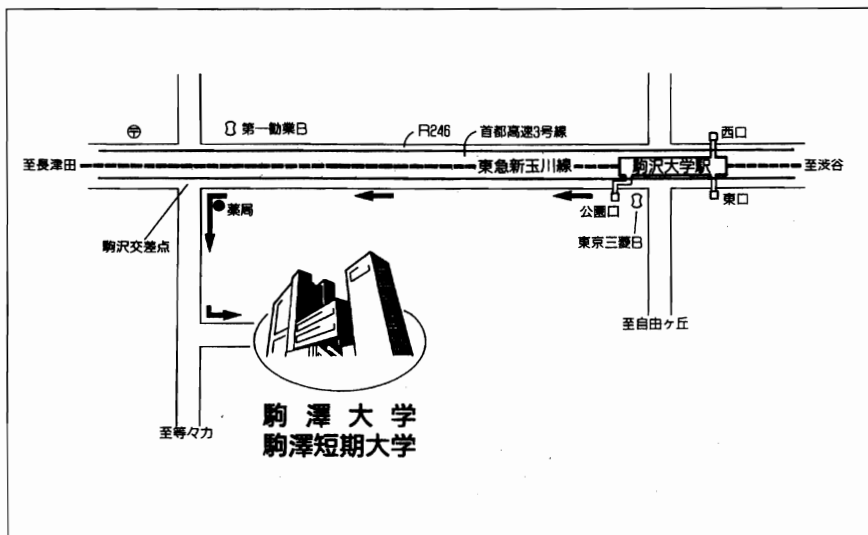


# ◎交通案内



※駅の数字は駒沢大学駅までの平均所要時間です。  
 駒沢大学駅から大学まで徒歩10分  
 ※「新玉川線」(渋谷駅～二子玉川園駅間)は、営団地下鉄「半蔵門線」および東急「田園都市線」と直結しています。  
 ※駒沢大学駅には「急行」は停車しません。ご注意ください。

## 駒沢校舎 [世田谷区駒沢 1-23-1]



●地下鉄東急新玉川線「駒沢大学」駅公園口より徒歩10分